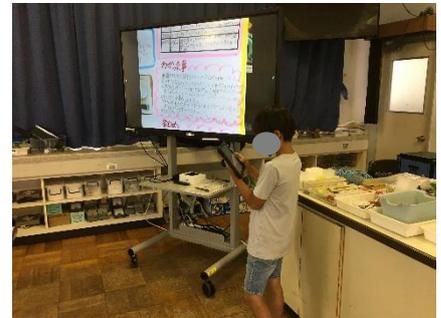
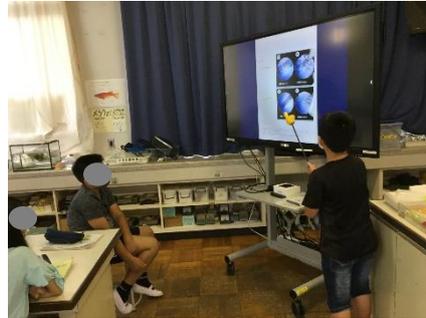
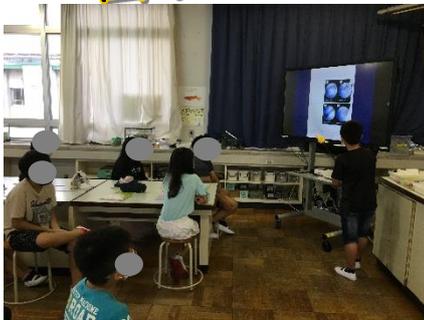




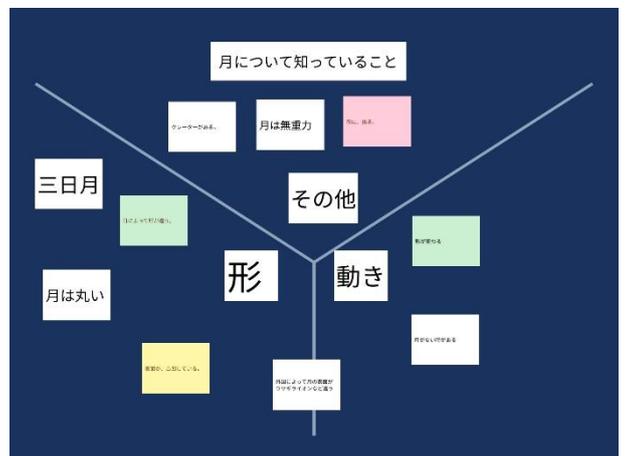
自由研究の発表会をロイロノートで!



今年度も、A4サイズ以内にまとめるということでしたので、自由研究の用紙を撮影してロイロに落とし、大型電子黒板に映して発表しました。子どもたちは、iPadを片手に持ち、(CSTで購入片手で持てるiPadケース使用)必要に応じて、拡大したりページをめくったりしながら、プレゼンをしました。1人3分を目標に、必要などころや、ここは言いたいという箇所をピックアップしながら発表することができました。高学年にもなると、教師の設定や、発表条件等、教師が考える子どもに付けたい力(ここでは、3分で話すために、情報を選択する力)に向かって、順応できることが、大変すばらしいと思います。日頃、他教科において、話す力や目的に合わせた情報を選択する力を付けてきたんだなと感心しました。こうした力が、「**教科横断的な学習**」において向上していくことが、これからますます必要になってくると思っています。教科それぞれをバラバラに指導する授業ではなく、どの教科でも、それぞれに学習したことを生かせる授業づくりを目指し、これからの時代に必要な能力が育てていきたいです。理科においても、国語や算数等で身に付けてきたことを生かして、授業を進めていきたいと思っています。

シンキングツールで習熟度を把握する

2学期から夏の研修「ロイロ・フェス」で学んだ「シンキングツール」をいきなり攻めていこうということでやってみました。これはいい!!が率直な感想。カードに「月について知っていること」を1枚に1つのことをできるだけたくさん書いて、それを「**Yチャート**」に分類します。すると、「動き」についての知識が少ないことが分かります。これは復習のチャンス!というわけです。



さらに、**アンケート機能**を試験的に導入しています。まだまだ使いこなせていない部分もありますが、試行錯誤しながら進めています。今回は、自由研究の発表後の感想をアンケートの自由記述形式で書いてもらい、自動的に集約、共有をしました。感想を記入したらすぐに結果が出て、Aさんの研究にどんな感想があったかが分かり、すごく便利でした。つまり、今までは、ノートやプリントに書いたものを、①ノート回収 ②読み込む ③パソコンで集約する ④印刷する ⑤配る といった作業が瞬時に可能になったわけです。まさに、GIGAスクール!!画期的。だれの発表を、だれが、どんなことを書いたかすぐ共有ができました。2学期の初めの授業アンケートもこの機能を使おうと思います。グラフ化もリアルタイムで自動作成が可能です。